



光洋サーモシステム株式会社



ご挨拶



取締役社長

梶原道郎

2007年6月6日に主要国首脳会議(G8)がドイツで開かれ、日本政府は「世界全体の温暖化ガス排出量を2050年までに現状から半減する」との長期目標を提案しました。私たちは、この目標を達成するために種々の努力を積み重ねなければなりません。

当社は、ヒートテクノロジーの総合メーカーとして、熱技術の創造に取り組み、温暖化ガス排出抑制に向けて環境配慮商品(省エネ、省資源、リードタイム短縮等)の開発・提供を一層加速し、物流改善等も推進してまいりますので、今後とも皆様のご指導とご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

会社概要

商号	光洋サーモシステム株式会社
創立	1967年(昭和42年)7月19日
本社	奈良県天理市嘉幡町229番地 TEL 0743-64-0981 URL http://www.koyo-thermos.co.jp/
資本金	4億5,000万円
売上金	2006年度:246億6,500万円 2005年度:215億1,000万円
主要事業	金属用熱処理炉、半導体・電子部品・セラミックス製造用熱処理装置、液晶・プラズマ表示装置用熱処理装置 他
従業員数	415名
事業所	営業拠点:奈良(本社)、東京、群馬、愛知、静岡、福岡、香川 生産拠点:本社工場(天理市)、榎原工場(榎原市) 海外現地法人:4社(中国、台湾、韓国、タイ)
ISO14001認証取得	取得年月:2001年6月認証取得

製品紹介



環境データ

施設	項目	公的規制値	実績		
			平均	最大	
大気	炉筒煙管式ボイラ	SOx	3.46	-	0.019
		NOx	180	-	64
		ばいじん	0.30	-	0.004
大気	吸収式冷温水機	SOx	0.44	0.015	0.018
		NOx	180	63	65
		ばいじん	0.30	0.004	0.005
水質	生活排水(厨房、便所等)	pH	5~9	8.7	9.0
		BOD	1,500	213	220
		SS	1,500	125	190
騒音	プレスシャーリングコンプレッサー送風機	昼	65	63.6	63.7
		夜	60	58.2	58.7
振動	プレスシャーリングコンプレッサー送風機	昼	65	-	37
		夜	60	-	30

本社・本社工場



水質は下水道の水質検査結果です。(特定施設なし)
【単位】SOx(m³N/h)、NOx(ppm)、ばいじん(g/m³N)、BOD-SS(mg/l)、騒音・振動(dB)

環境マネジメントシステム

環境目的	パフォーマンス指標(中期目標)	2006年度目標	2006年度実績	評価	主な取り組み
環境設計	環境効率(エネルギー、資源)を改善した商品の提供	'08年度の環境効率を40%改善した商品の提供(基準:2002年度比)	環境効率を35%改善した商品の提供(基準:2002年度比)	32.7~68.5%	<ul style="list-style-type: none"> 【対象商品】1. KCF浸炭炉 2. 1250 ボックス炉 3. 廃熱回収ユニット 4. 縦型拡散炉 【改善要素と目標値】消費電力 35%改善 装置重量 35%改善
省エネ	消費エネルギーの削減	(1)都市ガスの消費削減(ファイバー投入量比) '08年度の消費率を0.924kg/kgFin以下 (2)ガソリンの使用量削減 '08年度の使用量を346.1ℓ/億円以下 (3)特A重油の削減 '08年度の消費量を110kℓ/年以下に維持 (4)電力の使用量削減 維持電力の消費 '08年度消費量を8.12kwh/億円・年以下 ヒーター工場の電力消費(ファイバー投入量比) '08年度の消費量を3.77kwh/kgFin以下	0.961kg/kgFin投入量以下 360.8ℓ/億円以下 110kℓ/年以下 8.45kwh/億円・年以下 3.92kwh/kgFin以下	0.606kg/kgFin 360.8ℓ/億円 86.0kℓ/年 7.26kwh/億円・年 2.72kwh/kgFin	<ul style="list-style-type: none"> ヒータ乾燥炉の効率化(乾燥及び取り出し時間、乾燥温度の管理) 社有車にハイブリッドカーを採用 遠距離出張は公共交通手段を利用 キメ細かな温度管理 照明のブルスイッチ化拡大 人感知式照明の推進 業務の平準化とやり終いの徹底で、工場の効率の稼働
省資源	資源の有効活用 環境負荷物質の低減 グリーン調達	(1)コピー用紙の使用量削減 '08年度の使用量をA4換算で12.93千枚/億円・年以下 (2)可燃性高圧ガスの使用量削減(ブタン、アセチレン、水素、アンモニア) '08年度の使用量を44.8kg/億円以下 対象物質:キシレン、トルエン、酢酸ブチル 対象物質の総使用量を9.4kg/億円・年以下 (1)RoHS指令指定物質含有商品の購入/使用禁止 EU向け装置についてRoHS指令指定物質含有商品の購入/使用禁止 (2)グリーン購買 '08年度の事務用品のグリーン商品購入金額を40%以上	14.21千枚/億円・年 50.1kg/億円 10.06kg/億円・年以下	12.76千枚/億円・年 36.7kg/億円 11.34kg/億円・年	<ul style="list-style-type: none"> 取説のCD-R化 全部門で裏紙使用・両面コピーの定着 始業点検、ボンベ交換時のリークチェック 未使用時の元栓停止 含有量の少ない塗料調査、導入 外部委託業者の教育啓蒙 指定物質の含有調査及び代替品調査 グリーン商品調査及び購入量管理
環境改善	ゼロエミッション化に向けての取り組み	(1)廃棄物の減量化 (1)'08年度の廃棄量を7.6トン/年以下 (2)再資源化率の向上 (2)'08年度の再資源化率を99%以上	12.2トン/年以下 98.5%以上	7.545トン/年 99.2%	<ul style="list-style-type: none"> 床ゴミを篩いにかけて鉄屑回収 使用済溶接棒のフラックス除去による鉄屑の有価物化 ミラクルファイバー(クリーンアップ用綿布)の再資源化 個人持ち込み廃棄物の持ち帰り推進
環境法規	環境関連法規制、規範等の順守及び環境汚染の予防	(1)環境法違反件数:0件/年間 (2)環境汚染事故:0件/年間	(1)環境法違反件数:0件 (2)環境汚染事故:0件	0件 0件	<ul style="list-style-type: none"> 法定点検/定期点検の実施 緊急事態対応テストの実施
物流	包装梱包材使用量の削減 物流改善によるCO ₂ 排出量の削減	'08年度の削減値を1,103.8kg/年以上 '08年度の削減値を3.83トン/年以上	456.1kg/6ヵ月(下期) 3.16トン/年以上	988.7kg/6ヵ月 3.39トン/年	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチフィルムによる梱包材量の低減 2重目のビニール材厚の低減 積載効率向上による運行車数の削減 積み合せ出荷による運行距離の低減
サービス	サービス工事でのノンアスベスト化	'08年度のサービス工事でのノンアスベスト化を150件以上('07~'08年度累計)	100%	100%(29件)	<ul style="list-style-type: none"> 改造設計時の監視徹底によるノンアスベスト化の推進

□ 目標 ■ 実績